

於 二宮町教育委員会事務局

平成25年3月27日

## 二宮町教育委員会会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間                    10時        00分
2. 閉会時間                    12時        00分
3. 委員長名                    飯塚        富美
4. 署名委員
5. 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	飯塚 富美
2	○	小林 徳博
3	○	井出 真理子
4	○	蓮實 茂夫
5	○	内海 博治

6. 出席者氏名                    教育次長     石井博司  
    参事兼生涯学習課長     宮川康廣  
    教育総務課長     松本幸生  
    教育総務課指導班主幹     伊庭しげみ  
    教育総務課指導班主幹     北川慶太  
    教育総務課教育総務班主査     竹本直昭  
    教育総務課教育総務班主事     関田智恵子  
    教育研究所教育支援室専任教諭     岸陽二  
    教育研究所教育支援室教育相談員     井島素子
7. 傍聴者                        なし
8. 調製者                         教育総務課教育総務班主事     関田智恵子

## 平成24年度3月教育委員会定例会会議録

日時：平成25年3月27日（水）

午前10時00分より

場所：二宮町町民センター2Aクラブ室

### — 開会宣言 —

（委員長）平成24年度3月定例教育委員会議を開催します。

### — 署名委員の指名 —

小林委員を指名する。

### — 教育長事務報告 —

（教育長）3月事務報告を行う。

（教育次長）3月政策会議報告及び平成25年第1回3月議会定例会・教育関係審議状況報告を行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について説明する。

- （小林委員）議会の予算審査特別委員会において、図書館の非常勤特別職報酬を削減する努力をしてほしいと要望があったとのことですが、非常勤特別職の方たちはどのようなお仕事をされているのですか。
- （参事兼生涯学習課長）現在二宮町図書館は、司書の資格を有している正規職員4名、非常勤特別職員6名と10名程のパート職員で運営しています。職員は貸出業務・返却業務等のいくつかのブロックに分かれて業務を行っていますが、非常勤特別職員は各ブロックの主任のような役割を担っています。
- （小林委員）図書館の職員は非常に対応が良く、また手際良く作業を行っており、充実したサービスが提供されていると感じていますが、このように利用者の満足が満たされている状況での人件費削減をというご意見には、利用者へのサービスが低下しても良いと言われているように感じてしまいます。
- （参事兼生涯学習課長）平成23年度決算で図書館の人件費は正規職員・非常勤特別職員・パート職員を合わせ5千万円程生じていますので、もっと経費を削減出来るのではないかと意図でのご質問かと思えます。
- （小林委員）必要以上の経費は削減する必要があると思いますが、図書館は二宮町の宝ですので、サービスが満たされているという現状を維持していくことも必要なのではないかと思えます。
- （参事兼生涯学習課長）図書館は利用者からの評判が高い施設ですので、サービスの質を低下させることなく経費の削減に取り組んでまいりたいと思えます。

- （委員長）サービスの低下につながらないように、よろしくお願いいたします。
- （井出委員）一色小学校と二宮中学校の卒業証書授与式に参加しましたが、厳粛でとても心温まる式でした。小学校6年間、中学校3年間の教育の成果が表れる大事な式であり、教職員と子どもたちや保護者との最後の交流がなされる場でもある卒業証書授与式で二宮の教育の良さが表れていると感じました。また、議会において話題となった学校防災については、「二宮町教育委員会学校防災方針」として基準を明確に定め対策をまとめましたが、保護者や地域に浸透するには時間がかかりますので、年度が改まることを機に学校を通じ保護者等へ再度周知していただきたいと思います。教育長の事務報告でJA補助教材贈呈式が行われたとありましたが、どのような教材をいただいたのですか。
- （教育総務課長）毎年小学生がバケツで稲を育てコンクールに出品しているのですが、そちらの教材を配布していただきました。
- （井出委員）機構改革により設置される子ども育成課と教育委員会との連携について教えてください。
- （教育総務課長）現在も日ごろから担当職員同士での連絡の取り合いや「幼・保・小連携推進委員会」等の公式な会議により連携を図っているところですが、同じ町の組織ですので、機構改革後も今までどおり両課の連携は図れるものと考えています。
- （委員長）3カ月に一度開催される福祉課主催の会議には、毎回教育委員会事務局も出席し情報共有を図っており、非常に良いと感じています。機構改革により、一層の連携が図られることを期待します。

— 付議事項 —

議案第15号 二宮町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

（教育総務課長）二宮町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について説明。

- （井出委員）私立幼稚園業務が移管されることについては、一般の方は何を見ればわかるのですか。
- （教育総務課長）ホームページ等で確認していただくことになると思います。
- （運實委員）今まで教育委員会では助成等の業務を行っていたとのことですが、移管に伴い業務内容も今までと変わるのですか。
- （教育総務課長）今までと同様の業務内容で、事務を行う部署が変わるというものです。二宮町の幼稚園は私立のため、町教育委員会としては助成等を行うことが出来るとされていますので、24年度まで所管していた教育委員会において今までどおりの内容で予算計上し、議会の承認を得ております。

（委員長）各委員に、議案第15号について諮る。

委員全員賛成により、議案は承認される。

議案第16号 二宮町教育委員会関係職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則について

(教育総務課長) 二宮町教育委員会関係職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則について説明。

(委員長) 各委員に、議案第16号について諮る。  
委員全員賛成により、議案は承認される。

議案第17号 二宮町私立幼稚園就園費補助金規程の廃止について

(教育総務課長) 二宮町私立幼稚園就園費補助金規程の廃止について説明。

(委員長) 各委員に、議案第17号について諮る。  
委員全員賛成により、議案は承認される。

議案第18号 二宮町スポーツ推進委員の委嘱について

非公開

議案第19号 教職員等人事について

非公開

議案第20号 教育委員会事務局職員等人事について

非公開

— 報告・協議事項—

- (1) 二宮町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止について
  - (2) 二宮町私立幼稚園就園奨励費補助金交付事務処理要項の廃止について
  - (3) 二宮町私立幼稚園施設等整備費補助金交付要綱の廃止について
  - (4) 二宮町私立幼稚園教育振興補助金交付要綱の廃止について
  - (5) 二宮町私立幼稚園心身障害児教育費補助金交付要綱の廃止について
- (教育総務課教育総務班主査) (1) から (5) について報告。

- （井出委員）こちらで廃止される幼稚園関係の補助金と同じような内容の補助金が保育園に関してもあったのではないかと思います、そちらと幼稚園関係の補助金と一緒になるということですか。
- （教育総務課長）幼稚園と保育園では成り立ちの違いから、保育料等の保護者の負担する金額や設置者の施設を管理運営する費用の負担に大きな差がありました。その不均衡を解消するために策定された国の制度等に基づいて行っていた助成ですので、保育園関係と同じ補助金になるというものではございません。
- （蓮實委員）町内5つの幼稚園の就園状況について教えてください。
- （教育総務課教育総務班主査）平成24年5月時点で町内在住者が約370名、その他に同じ程度の町外在住者が就園しています。

（6）二宮町学校給食費取扱い要綱の改正について

（教育総務課教育総務班主査）二宮町学校給食費取扱い要綱の改正について報告。

- （小林委員）内容を改めたのではなく、整理をしたということですか。
- （教育総務課教育総務班主査）はい、現状に合わせた要綱として整理しました。
- （小林委員）給食費の徴収状況はいかがですか。
- （教育総務課教育総務班主査）若干の未納者はおりますが、学校と教育委員会が協力し未納の解消に努めているところです。
- （小林委員）現金で徴収することもあるのですか。
- （教育総務課教育総務班主査）未納分や新1年生で口座振替の手続きが間に合わない場合には現金で徴収します。

（7）二宮町就学指導委員会設置要綱の改正について

（教育総務課指導班主幹）二宮町就学指導委員会設置要綱の改正について報告。

- （小林委員）「二宮町教育委員会所属臨床心理士」を「その他教育長が必要と認める者」と改めると、今年度は必要がないとして参集しない場合もあるということなのではないでしょうか。
- （教育総務課長）現在お願いしている臨床心理士より今年度は会議への出席が難しい旨のご連絡をいただきましたので、日ごろ子どもたちをよく見ている、学校相談員として配置している心理士に委員になっていただいたら良いのではないかと考えました。しかし、学校相談員の役職が確定的ではないため、「その他教育長が必要と認める者」という、状況の変化に対応できるような表現としました。教育委員会としては、心理士等の子どもたちを見ている方には必ず参加していただく姿勢です。
- （小林委員）なるべく多くの方に見ていただいた方が良いと思いますし、子どもの状況を知っている方に必ず参加していただきたいと思います。

(8) 英語検定実施結果について

(教育総務課指導班主幹) 英語検定実施結果について報告。

- (運實委員) 38.9%の利用率はどのように考えたら良いのでしょうか。残りの60%近くの方については自費で受験されたのですか。
- (教育総務課指導班主幹) 受験しなかったということだと思います。1回目はこちらの制度を利用して受験し、2回目は自費で受験した生徒もいたようですので、利用率と受験率が同じというものではありません。
- (教育総務課長) 申請しなければ利用することができないため、38.9%という利用率になっています。議会でも利用率を100%にするべきではないかとのご意見がありましたが、受験する・しないという個人の選択の自由は残しつつ、制度の浸透を図りながら利用率を100%に近づけていきたいと考えています。中学校3年生になって急に英語検定の受験を推奨するのではなく、小学校・中学校の教育の中で自主的に英語検定を受験したいと思うような気持ちを育てていきたいと考えています。
- (小林委員) 利用率が100%であるということが二宮の英語教育の評価と等しいというものではないと思います。小学校からのALTとの交流の中で異文化に興味を持った子どもを育成することの一つとしての捉え方で良いのではないのでしょうか。今後は小学校・中学校の連携カリキュラムをしっかりと作りながら、二宮の子どもたちが異文化への理解を示していくということが大事だと思いますので、そのような英語教育を二宮独自のものとして行っていただきたいと思います。
- (井出委員) 押し付けて英語嫌いな子どもにならないよう、数字に惑わされずに事業を進めていただきたいと思います。

(9) 教育相談・教育支援室活動の状況について

(教育支援室専任教諭) 教育相談・教育支援室活動の状況について報告。

- (井出委員) 学校訪問等で感じたことがあれば教えてください。
- (教育支援室教育相談員) 学校に行く際には、教員から見てほしいと言われた子どもや問題点を提示していただいた事例を先に見ますが、学級や学年全体の雰囲気からその中にいる子どもがどのように活かされているのかを見るようにしています。こういったところに目を向けていただきたいと感じた場合には、提案をさせていただいています。
- (小林委員) 学校からの要請に応じて訪問相談を行っているのですか。また、現在、不登校や教育支援室に通室出来ていない子どもは何名程おり、そのうち今後通室出来るようになる見込みがある子どもは何名程いるのか教えてください。
- (教育支援室教育相談員) 訪問相談についてですが、今年度は月に1回程度、予め期日を決めて小学校へ訪問させていただいていました。そちらとは別に、保護者が来室し相談に来られた事例について、学校と連携を図ることについて許可を得たうえで、学校を訪問しケース会議を設けることもあります。また、学校訪問の際に気に止まった子どもについて、担任教諭を通じて子どもの様子を保護者に伝えていただき、教育支援室を紹介させていただいて訪問相談に繋がる事例もあります。

- （教育支援室専任教諭）不登校や教育支援室に通室出来ない子どもは各学校それぞれにおります。学校において担任教諭や学年として対応しているところですが、教育支援室としても保護者からの要望があった場合や、その子どもにとって通室につなげるのが最良であると判断した場合にはこちらから関わりを持たせていただいています。しかし、なかなか突破口がないというのも現状です。
- （小林委員）そのようなお子さんにとっては、通室が社会に出る一歩にもつながると思いますので、今後とも今まで同様の働き掛けをよろしくお願いします。

（１０）辞令交付式について

（教育総務課教育総務班主査）辞令交付式について説明。

（１１）その他

— 次回教育委員会予定 —

（教育総務課教育総務班主査）次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

— 閉会宣言 —

（委員長）平成２４年度３月定例教育委員会議を終了いたします。

１２時００分 終了